

ココイケ

発行責任者：磯邊 隆（野川博士）
制作：調和小ココイケサポーター
発行：2017年9月

野川渇水臨時特別号

2017年6月、野川の水がなくなった



箕輪田橋から小金橋に向けての野川。左の建物が調和小学校。(2017年6月撮影)

上の写真は水がなくなった野川です。川底には沢山のエビや魚の死体が重なり、生き物が小さな水溜まりで命をつなぐ姿が見られました。多くの生き物が死体となり、野川に死臭が漂いました。



水がなく、死体となったエビや魚



野川橋付近でのレスキューの様子。水が少なく、簡単に生き物が捕まります。

おさかなレスキュー

野川の水がなくなり、生き物を捕まえての一時的な飼育や水量の多い野川大橋下流への移動などの呼びかけを行いました。ココイケサポーターズも個々に活動。野川の生き物のレスキューを行いました。また、サポーターズ以外の方がレスキューにご参加いただく姿も見られました。

現在、野川の流れは回復しています。生き物の命を救う活動へのご協力、ありがとうございました。

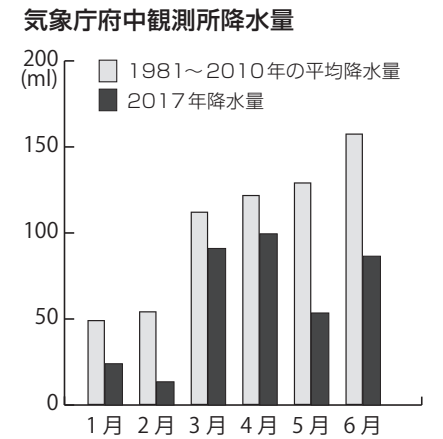


野川の水がなくなった原因を考える

野川の流れは回復しましたが、水不足はどこに原因があったのでしょうか？考えられる原因をご紹介します。みなさんも考えてみてください。

降水量が少ない

右のグラフは野川の上流に最も近い気象観測所がある府中の2017年の降水量を例年と比較したものです。野川の渇水が見られた6月だけでなく、1月からの降水量が少なかったことがわかります。野川は国分寺崖線からの湧水が流れ込んでいます。長い間の雨の不足により、地下水の減少が影響したと考えられます。



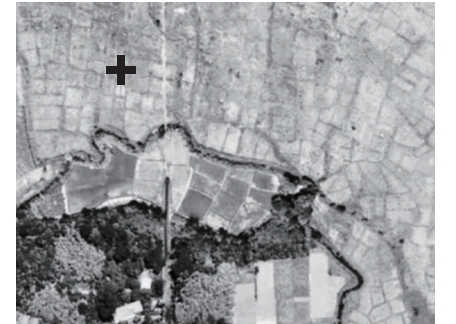
野川の整備

野川は1967年(昭和42年)に大幅に工事を行っています。調和小前の高谷橋付近から粕江市中心に向かって流れていた流れが、現在の位置に整備されました。新しく整備された部分は、水害対策も兼ねて深く掘り下げたため、砂利層に到達しました。水は染込んでしまわないように、川底に粘土質が必要です。京王線下流の車橋から谷戸橋にかけて、平成8~14年頃に、河床30cmの粘土張り工事を行っています。貼り込まれた粘土質が削られてしまっているのではないかと推測されます。今回の瀬枯れの地点の下流からは再び水が浸みだしているからです。

(写真：国土交通省国土地理院)

野川整備前の調和小 空撮 1960年代初頭

写真+が調和小の位置。周辺は畑で、下に蛇行している野川が確認できます。野川はたびたび洪水を起こしていました。



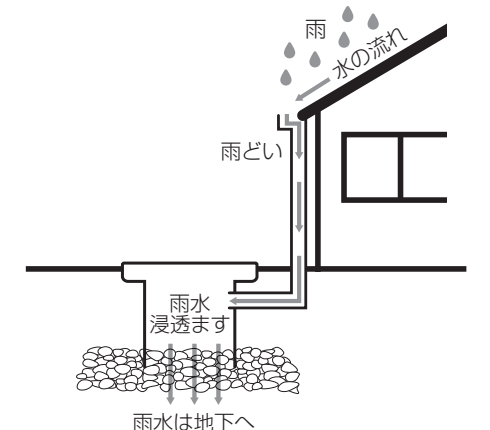
野川整備後の調和小 空撮 2009年

写真+が調和小。野川は神代団地を通り喜多見に向かって整備され、洪水はなくなりました。かつての流れは野川緑地として整備されています。



野川を守るために出来ること 雨水浸透マスを知っていますか？

雨水浸透マスは、底が水が土に浸透しやすい砂利などになっているマスで、雨水をマスの中で一時的に貯蓄させ、徐々に地中へと浸透させる設備です。設置により、屋根に降った雨水を雨どいから地下に戻すことが可能になります。地表が舗装された都市部において、湧水の復活、地盤沈下の防止、河川の水質改善、都市型水害の軽減、ヒートアイランド現象の緩和などに役立つとされています。調布市では総合治水対策、環境保全の一環から、雨水浸透マスの無料設置を行っています。お問い合わせは調布市環境部環境政策課まで。



野川の環境を保つには？

野川の環境を保つにはどうしたらよいのでしょうか？

ハケと呼ばれる国分寺崖線^{注1}の湧水が流れ込む野川では、湧水の元となる地下水の保持が水量を保つために重要です。また、川の水が地面に吸いこまれるのを防ぐ川底の粘土質の層も役立ちます。

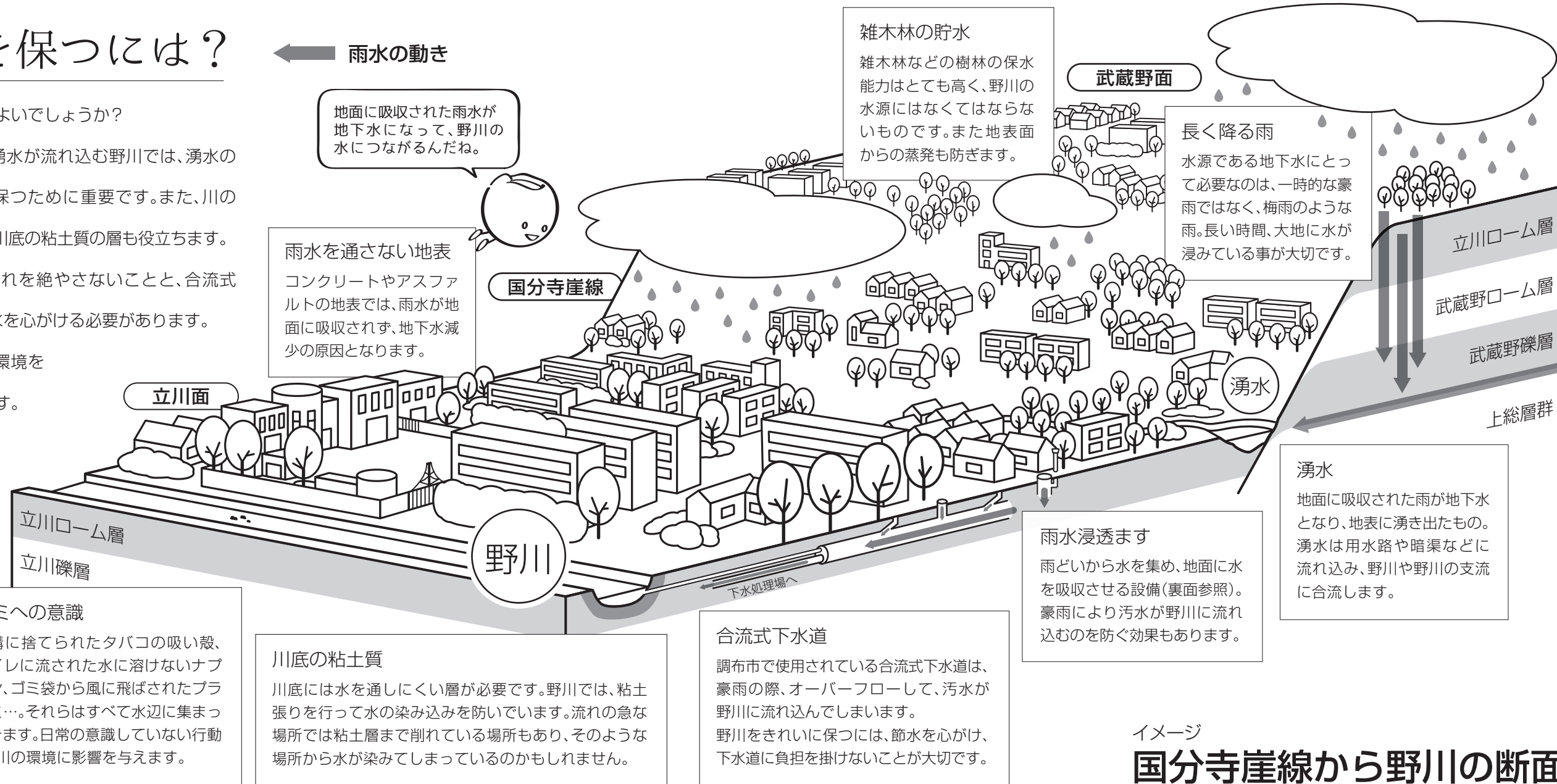
水質をきれいに保つには、水の流れを絶やさないことと、合流式下水道の調布市では、雨天時の節水を心がける必要があります。

さらに川にゴミを流さないなど、環境を意識することが大きな力になります。

私たちの身近な野川。

ココイケサポーターズは、野川がいつまでも、多くの生き物を育む川であることを願っています。

^{注1} 国分寺崖線
武蔵野台地を、高さの違う武蔵野面(武蔵野段丘)と立川面(立川段丘)に分ける崖。調布市内においては、深大寺からつつじヶ丘、若葉町に向かっている。



イメージ
国分寺崖線から野川の断面

ココイケサポーターズ募集

本日のお申込みは磯邊まで！LINEグループに登録します。以降のお問い合わせは、右のお申込み方法をご覧ください。



ココイケサポーターズは月に一度、ココイケおよび野川の清掃、生き物採集を行っています。また、学校内のちょっとした修繕も行うことも。お子様との参加は大歓迎！子供たちの学校にぜひお力をお貸しください。サポーターズへの登録で、右記のちょっと変わった自然・生き物系のイベントに参加も可能です。毎月の活動日程は、LINEまたはメールにて連絡します。毎回参加できなくてもOK。ご都合の良い時にご参加ください。男女問わず、未就園児から中学生まで幅広い年齢の子供達と一緒に活動しています。ご興味のある方は、お申込み方法をご覧くださいのうえ、ご登録ください。

■ サポーターズが参加できる自然・生き物系のイベント



鵜沼海岸地引網
毎年9月の地引網では沢山のアジ、サバ、シラス、ズキ等がかかります。皆で捌いて、海鮮丼にいただきます。他にもエイやサメ、フグなども採れます。



おさかなポストの忘年会
TVでおなじみ、山崎充哲さん(ココイケアドバイザー)率いるおさかなポストの忘年会。餅つきをして、多摩川のアユの天ぷらをつまみに楽しい時間を過ごします。



三沢川ガサガサ探検隊
川崎漁協主催のイベントです。投網を見て、自分達でガサガサをします。捕れたアユやオイカワ、ブラックバス等は天ぷらにすることができます。



田植え・稲刈り
横浜子どもと自然ネットワークのイベントに参加できます。新潟県十日町市で無農薬・天日干しの最高のお米を作りませんか？

■ お申込み方法

タイトルを「ココイケサポーターズ 加入申込」として、本文に保護者氏名、お子様の氏名/学年/クラス、メールアドレス、電話番号を記載して、下記のどちらかまでメールを送信してください。

kinema-kai@docomo.ne.jp
takasui@aol.com

※ 通常、一斉メールで連絡していますが、“大量メール送信者の拒否”になっている方は解除をお願い致します。

※ 二日経っても返信がない場合はお電話ください。(磯邊 090-8003-1395)